大成評議

内閣文庫		
番號	和 8654	
冊數	70 (67)	
函號	180	73

国立公文書館
National Archives of Japan

大成評議律

六十五

和書門
類 八六五四號
函 九五
架 七
冊 七〇

内閣文庫
和書
類 八六五四號
冊 七〇
函 一八〇
架 一四

内閣文庫
番號 和 8654
冊數 70 (67)
函號 180 73

国立公文書館
National Archives of Japan

大成詳説律　六十四

目録

一人教育狼藉　古文教

内閣文庫圖書之印

国立公文書館
National Archives of Japan

八
教
化
俗
稽
考
之
義

国立公文書館
National Archives of Japan

明和九辰年四月

大坂町奉行組

一常力と申す町人及び篇と一件

己十四番

久世出雲守殿

名倉山為吉

右之者成行面と兎角別て常力と申者と
申し候故出雲殿使吏を以て
之を常力宅迄召連れ被為了
幸忍し疵所に痛同苦と仕候ハ
有之候ハ、

右之者共押領致候旅宿ニ而不届之儀申付中追放
此者儀旅宿ニ罷在候節見世物頼候処右之者共ニ而旅宿へ引取
旅宿之内ニ而見世物等ニ付差遣候処一同ニ罷越候ニ付
若者仲間之者共相談いたし候ニ付右体之儀共相成候ニ付
右之儀相頼候ニ付右之旅宿へ相招候者共を相招引合
差図いたし旅宿へ参り候ニ付猶又相尋候ニ付
右体之儀ニ付旅宿之者共右之始末相尋候ニ付
旅宿之者共一件之内旅宿之者を相手取相尋候ニ付
不届ニ付大小之品取上中追放

評議之通

同人兄弟
百姓藤八

右之者儀今般旅宿ニ而不届之儀相尋候ニ付
右様之儀ニ而旅宿ニ而相頼候ニ付
差図いたし旅宿へ相越候ニ付
右之旅宿ニ而押領致候ニ付旅宿之者共相招
引合

此者儀旅宿ニ而不届之儀相尋候ニ付
旅宿之者共右之通相尋候ニ付

右之者追放

諸御届済

安政二巳年四月
大坂町奉行
一 以寿庵中間自殺致候一件

年三十一歳
大以寿院
石川河内守組
柳本能殿中間
又助
若年寄丹後守組
加藤与兵衛 代々人

坂川吉太郎支配中間
何平

一 右之者儀何某方ニ住居仕候処当月廿四日朝見廻り罷越候処
主人在番先ゟ申付候御城内ニも不罷出何年ゟ之病気ニ而屋
二疋之不届ニ付追々引籠
一 何平儀去酉年ゟ月ゟ不罷出少々之病気ニ付候ニ付自分ゟ差出
主人在番先ゟ申付候御城内ニ而右様之儀申出又助と致
し候ニ付自殺致候儀ニ付右之始末取調候ニ付
江戸御細工所大坂三ケ所
御番以上之者御城内ニ而相勤候十人以上致合候得共合候

双方商人、堂ヶ浦[illegible]と申し候様ニ[illegible]
[illegible]ヶ年何年ニ[illegible]
[illegible]
[illegible]
江戸[illegible]

例

延享三寅年被[illegible]

堀川[illegible]

右[illegible]

[illegible]

[illegible]

右同人 中間

[illegible]

右者清兵衛当六月十七日大坂天満天神供ニ付 河堀中之口縄戸之
再立并当来ル押出候ニ付縁起并諸道具一揚を差出ス趣ニ而申分
有之候へ共右趣之 再願ゆゑ双方も双方も無之候 河堀周九
之儀未熟之及示申合候而得心及候偏ニ附之候 河堀周平
候ニ付此段御届申上候 掛り申上候

安永四未年 御渡

京都町奉行所

十一番

一 四条芝居手形之儀ニ付

二条左斎

森川紀伊守組
本多源次郎組
明石丹次

右之者儀 源次郎左衛門名之儀者 浪下此度之成年中罷在
芝居出内凡七間之儀主人所預り外へ人方ニ偏之更衣加茂
依頼ニ付 右之或者前々罷在候 年も同様向々罷在
少ニ而源次郎儀も申渡 芝居ニ而之儀者同様少ニ而申
如外之旨御届申合之儀ニ付同様右之儀ニ付 是人相糺
其内之儀と申然所而ニ付少々申付之 相違無之候
就一旦済申之 右儀ニ付相違無之 金銀者少上 ニ而候
右之儀共之様 右様之儀ニ付 再度相違 仕候

乗懸之通ニ而書付ニも有之中分以上之者不足之通添紙ニ而通
差扣し見候人於證拠者伝聞之儀ニ而一天源次郎申ニ付右ニ
出来之上ハ前後致十ヶ年之右儀不審相尋候處伝聞之事ニ
有之儀ニ付中扣
然共例ニ依一件之者多人数之儀ニ而十人ニ余り候ニ付役儀被召上
口死ニ付尺八へ親類共初縁口出し右之通ニ而町所を掛越候を致立
不構候不ニ成可申哉かゝる上ハ其身之上中追放ニ申付候へハ右之趣
不相立尚又不ニ成候而其分ニ而右之趣申上候處門弟共
三ヶ年在所ニ而指図致候故在所ニ而神仏参詣等
[illegible]人と名乗候不届ニ付右之方不届ニ付右之通ニ而

是迄之内　三浦加賀守　中追放

同人組
浦田兵左衛門倅
遠慶　五右衛門

右之者儀兵左衛門　忰之儀ニ而右候下ニ付宜敷成候上前
刀人申候共不届ニ付其後不届ニ付外人共
相成候一旦職分ニ付伝聞之趣ニ付前ニ説右ニ
同居之上ニ而相続ニ付兵左衛門存候中渡シ兵左衛門　用
事ニ付其外金銭其外共ニ一同職分等ニ付

丹次郎儀ニ出会候ニ付右両人ハ北脇右衛門の右之者を以取扱ひ
飯取り相渡し候ニ付候由申合不残右右衛門へ返し為差出
候ニ付中々ニ而相立候の始末ニ付差免主意近所及
戸ニ候処中々以不届之返済返答掛右両人を差留
其上仕形ニ付組書差出候様申付候事加ニ而仕置所
預り相済申候
此段一件ニ付丹次郎儀不埒ニ付候事 懸進仕

請取ニ而済

同人組
小頭
板倉

大木市左衛門中宿
勘助

右之者市左衛門在番先ニ而右相煩候ニ付在所ニ而
常刀人中ニ而返し右衛門相頼取計ひ候
人共ニ而揃不申一件ニ付候事仕形不届ニ付
之段右年来同様相心得候而此度相済候
丹次郎儀沢田之一件申候ニ付
中座ニ而出度一件右衛門を以相頼
右例ニ相揃候而其外相済候
候事右様一件水元之者ニ而右揃仕方之事人

右勝之丞仕形共絵書壱冊差出申候ニ付而も右之通かへつ

仕候ニ而御座候　設之上　御中　御外掛

此段一件之内　丹波御承知不罷在候之上中間之者々申付候

設之上江戸様　御中　御外掛

御伺之通承候

慈恩院方丈中間

次右衛門

右之者共常力人中間共　若党共可致棟梁ニ而見分致候

之外ノ今度之儀不及義ニ付仕形出来ニ付承知御届

之段去年並之日限ニ而相届候方丈役人々申付候延

鳥目拾貫文本人之ニ右借金之内申付遣人足為勝手

此儀右廻高寿之格式ニ付一両二分之道

此段右之者存知拾両在所遣候

之儀不相立候之始仕立為人右勝之丞仕形絵書右方丈

役人中ニ而御日数三十日相延

此段右勝之丞仕形ニ付掛延十ヶ日之日数御当地ニ

申付掛延右願中日数之延

申聞ニ数之延三十日ノ日数

御伺之通承り

安永九子年四月

三十二枚

大坂町奉行え為渡候書付

一 此我未荒壽の在中男と云人々え申渡取扱一件

此松勝太郎支配
川崎此我屋敷
寺社三年

此度右之者共以困窮之場所借請候ニ付右之者共ニ出張之筋ニ付仕舞候ニ付
右之者共者中ニ而右之通申付候ニ付右之者共
[illegible]之為猶又此度右之者共一同ニ而右之者共
御取扱之儀右之者共被申付候ニ付
被仰付候様仕度奉存候 三千両相渡

諸家之御触
元御手付 御勘定所

永極備前守組与力
三宅大蔵右衛門伜中務
[illegible]

前之通之書令御取計之儀年中之通三年右之通相成候ニ付
右之趣を以御勘定所へ申達候ニ付右之者共ニ而右之段申付
右之者共ニ而相済候ニ付一旦之者共右之段年中右之通ニ而取計
右大坂三仕舞
此節一旦之者共儀年中取計之通右之通三年相立
右之者共之通ニ而右之通別紙例之通会所へ申渡候

同ニ而大坂三ヶ所

御渡しニ不及

天明二寅年四月

駿府町奉行伺

一 水野澤右組与力遠藤宇兵衛女房を切殺し候一件

評定

[illegible]

駿府町奉行

水野澤右衛門組

遠藤宇兵衛

右之者義密通之男女を切殺し候儀ハ去ル丑正月廿五日

於大番組附御番所ニ而男を切殺し女ハ討捨ニ致し候所宇兵衛ハ

賀嶋道之助方ニ而奉公致し候者忍ひ参り密通之儀宇兵衛方

利助与申者仕置候節大番組を密通いたし候儀ニ付

出入いたし候よし御届有之候ニ付吟味仕候処

密通之義者兼而宇兵衛存居候得共又候打過候ニ付

旅来不届之至ニ付則討捨ニ致し候旨申出候

去ル丑正月廿五日大番組組附密通之節討捨ニ致し候

右宇兵衛ハ最初討捨之儀ハ申立候得共右中間之宇兵衛

致し候者討捨ニ致し候節利助方ニ而討捨ニ仕候旨申上候

然上者女房ニ付討捨申付候ニ付御仕置可被仰付候哉

此段奉伺候以上

寅四月

評議之際

天明六午年四月　　二十二番

大坂町奉行伺

一　四ツ定壽船極長ゟ組同覚兵衛事茂兵衛を夫婦取計談

上達候之一件

船極方与力組同心

武井二蔵治郎

中にも其場へ被相備佐兵衛との段申清兵衛方へ持参出

来候り又一家共へ取計一同書付来共人候人へ名も宿残為致

右三郎於右衛並人同之取計候之多人致中ニ入り為

御挨拶人へ之者ゟ別而方ゟ仕置存之上猶不相成候も不存

茂兵衛与被聞ニ者のを不遣し候茂兵衛寿三郎并清八へ科合為

挨拶を貰ひ為承知し則右之段不埒三郎兵衛を為紀不

遂とて夫擲ニ及候取合之取押七人之者共と相右茂兵衛へ

一足銭此ツの手配三郎兵衛ニ而之無表之門出候白ニ相抑留表二家

七兵衛茂兵衛十二三日三郎兵衛も打擲ニ及ひ麻付

少々三郎兵衛を縛下之取上両人ニ而手荒之仕方重く

不届ニ付一ツ重追放

此段御伺七月　牧野大隅守　町奉行小田切土佐守

中川大隅守　加役松平　　松下　　半兵衛

直ニ罷出候ニ付　段々之義ハ名主共ゟ可申上処役所様ゟ
参り候所ニ而少しも相手ニ成其者暴動致申合候節召捕荒職
等致し打毀シ其外検断ヲ以加へ候所出張ニ付与四郎外一人
を十手ニ而召捕但シ与四郎頭取庄屋翌朝同組同心組頭
金蔵八郎兵衛一同御役所清三郎対談之上町会所其外誰々
共申上候ニ付御逮捕之経緯又者立戻松田茂兵衛
御役所ニ呼出シ右之保証人差出覚町人名前書上
之候出候申上候右之清三郎八左衛門共召捕申上候事
一同名主御役人与右衛門差出下立役人人別御座候
御召捕清三郎同組御番所最初召捕候者共ハ

名主組頭等申立来候得共又申付候中立会候得
御指揮之節ニ付申上候得共相糺候得共申付候
其外御検断之事被仰付候ニ付加筆候通申聞
いか様之儀共右之者ハ人相書付差出候段
之趣ニ而相認申上候ニ付承知仕候右三郎兵衛
指図ニ付其段申上候立会之上差遣候外七人之者共
一同申合候趣三郎兵衛申聞候ニ付右之通御座候
一同御役所ニ而三郎兵衛申聞候共右之趣相違無御座候
右之者共御召捕三郎兵衛共御吟味之上申渡候
一同御役所ニ而申渡候右之趣御尋ニ付申上候

同人組同分
小林秀蔵件

元方
小林力三郎

右之儀対馬命ハ福岡ニ居合ものなれとも共内ニ
出立之事相分命ハ此者ハ事ニ無之ハ
ヲ秀蔵等郷ニ対し不法之儀ハ無之ハ
外七人之者ハ秀蔵事と始仕方ハ相分人と者ハ
別ニ方ニ無之ハ出立之義ハ命ハ
ハ相違ハ無之ハ

芝辰事ハ西之命之儀ハ秀蔵ハ相違ハ
を以紀之儀ハ郷ハ家名相続ハ又一同ハ金芝辰ハ
二命者ハ有御ハ芝辰ハ郷ハ
之命者ハ仕方ハ相違ハ
右命ハ中進ハ

武井元治命之儀ハ
相違ハ武井元治命ハ
右之者ハ家内ハ
之上二命ハ芝辰ハ三命者ハ
郷家ハ命ハ五郎と
以紀ハ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

同人組頭

[illegible]

[illegible]

[illegible]

天明七未年以後

甲府勤番支配組

一　甲府御城内平右衛門方ニ而盗賊手疵命ニ付

元甲府勤番

源左衛門手疵死ニ成

藤沢手疵命

町奉行ニ而取扱

十月廿九日甲府御城下堺屋平右衛門方ニ而盗賊手疵ニ成候ニ付

延命ニ付ニ而ハ無之候ヘ共同人妻お沢儀ハ逆意ニ成候ニ付

脇差ニ而ハ無之候ヘ共刃先ニ而咽喉ヘ突通し相成

出血致候ニ付ニ而ハ元　御目見以上ニ付ニ而

抜之部

寛政八辰年以後

大坂町奉行　組

一　松平伯耆守様　源左衛門　浪人

中方法度を殺害いたし候一件

甲府ニ元組ニ付ニ而

松平伯耆守様

浪人源左衛門

寛政八辰年以後

大坂町奉行

二十五

天明七未年以後

大坂町奉行　組

一　松平伯耆守様　源左衛門　浪人

中方法度を殺害いたし候一件

甲府ニ元組ニ付ニ而

松平伯耆守様

浪人源左衛門

海辺宝物

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

遠藤[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

中間ニ為ニ武家ニ奉出和光院殿之御人ニ
外郎ノ儀ハ 安永元辰年ニ
中方ニ作ニ仕外郎 為ニ恒例名 所人 百姓共下男ニ
被前ニ来聘ニ為ニ其儀ニ 少有来ノ例ニ
進級ニ 下外郎ニ作ニ仕ニ 御所ニ
清家ノ御書

寛政元酉年 川波 成三十書

系図所ニ打 何

一 城下梅村、好波村ニ為ニ編ニ 外郎ノ一件

右御所命
外郎 共人

右之外郎ハ 揚子江筋ニ
住居仕候ニ付 唐ニ
而ハ如何ニ
而ハ 日本ニ
ハ 唐ニ

存ノ儀ハ 或ハ 方ニ 村手ニ 加茂三郎 為ニ 命ニ 在
所ニ 之ニ 田舎ニ 之ニ 国之 記ニ 見ニ 自ニ 古ニ 為ニ
川筋 不 内 下梅村 好波村ニ 為ニ 年ニ 四人ノ 人ノ
及ニ 編ニ 年ニ 不 城 命 梅 六 仕ニ 年
言 梅 川 之 力 之 編 国 好 年
為ニ 石 梅 年 命 為ニ 概 年 為ニ 方ニ
好 石 林 村 国 ニ 為ニ 方 編
為ニ 永 仕 為ニ 力 之 者 仕 合 為ニ 梅 好 方 仕

[illegible]

[illegible]

[illegible]

遠藤後二郎

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]代に[illegible]井[illegible]殿[illegible]八[illegible]
[illegible]の事[illegible]
[illegible]洲[illegible]八[illegible]
[illegible]八方に[illegible]出[illegible]
[illegible]
[illegible]の書[illegible]
[illegible]の事[illegible]
[illegible]書[illegible]
[illegible]殿[illegible]
[illegible]八
[illegible]

[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]殿[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

困窮に迫り遂に[illegible]を[illegible]に押し遂に[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

急度申

[illegible]年間[illegible]拙何の上[illegible]
[illegible]丹上[illegible]中間新[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

切付 [illegible]

不[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

寅八月年以降

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

不去年相分量間違之段人員差及脇表に脇差に以相違
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一　永倉　惣兵衛　中間　虎蔵　儀ニ付願一件

永倉惣兵衛中間
虎蔵

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

内閣文庫
内閣文庫
内閣文庫

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan